

京都滋賀体育学会だより No.39

<http://www.kyoto-taiiku.com>

I 平成27年度事業報告

(1) 第145回京都滋賀体育学会大会

日時：2016年3月13日(土)

会場：同志社大学 今出川校地 室町キャンパス 寒梅館 203号室

大会会長：井澤 鉄也(同志社大学 スポーツ健康科学部)

大会事務局：竹田 正樹(同志社大学 スポーツ健康科学部)

一般研究発表 セッション1 9:40~10:40 寒梅館203号室

座長：中村康雄(同志社大学)

高校生男子走幅跳競技者の踏切動作の Kinematics - 跳躍タイプに着目して -

柴田篤志(京都教育大学大学院), 小山宏之(京都教育大学)

骨盤の意識付けトレーニングが疾走動作に及ぼす影響 - 中間疾走の動きに着目して -

橋本光平, 水口善文, 柴田篤志, 大月菜穂子, 小山宏之(京都教育大学)

500m 走における接地動作の違いがパフォーマンスに及ぼす影響と接地に対する意識について

池田悠真, 小山宏之, 水口善文, 柴田篤志, 大月菜穂子(京都教育大学)

ハードリング動作の向上を促す教具の開発 - 小学校高学年を対象として -

古藤拓哉, 小山宏之, 大月菜穂子, 柴田篤志, 水口善文, 久保理英, 萬玲奈, 池田悠真,
大村涼, 橋本光平, 森本公人, 山崎裕(京都教育大学)

やり投げ初心者の動作の特徴を踏まえた体育授業で活用できる指導法の検討

水口善文(京都教育大学大学院), 小山宏之(京都教育大学)

一般研究発表 セッション2 10:50~11:50 寒梅館203号室

座長：来田宣幸(京都工芸繊維大学)

小学校女性教師の職能発達に関する体育実践の力量形成過程についての質的研究

明石愛, 辻延浩(滋賀大学)

教員志望学生の ICT 活用力の育成に関する研究 - 体育授業における ICT 活用授業モデルを用いて -

大月菜穂子, 中比呂志, 小山宏之(京都教育大学)

大学生におけるボランティアの活動実態と意識調査

山本秀, 小森康加, 喜多野宣子, 新村由恵(大阪国際大学)

フィットネスクラブにおけるレッスン参加者の運動継続傾向

池野耀, 藤松典子(びわこ成蹊スポーツ大学)

持久系スポーツ参加者の健康意識に着目した消費支出の分析：コミットメントレベルからみたトライアスリートの消費行動

菅野卓弥(同志社大学), 二宮浩彰(同志社大学), 松本耕二(広島経済大学), 渡辺泰弘(広島経済大学)

一般研究発表 セッション3 13:00~14:00 寒梅館203号室

座長：小森康加(大阪国際大学)

大学生の朝食摂取状況と体力に関する基礎的研究—朝食内容評価の必要性について—

中島里香, 喜多野宣子, 北峯未来, 小森康加(大阪国際大学)

男子大学テニス選手の睡眠の質がテニスのサービスパフォーマンスに与える影響

鎌田将五, 武田哲子(びわこ成蹊スポーツ大学)

小学生の疾走能力に及ぼす体力因子の検討

鳥取伸彬, 貴船創一, 藤田聡(立命館大学)

女子野球選手の球速に関連する因子の検討

平本真知子(京都府立医科大学附属病院), 松井知之(丸太町リハビリテーションクリニック), 東善一(丸太町リハビリテーションクリニック), 瀬尾和弥(京都府立医科大学附属病院), 宮崎哲哉(京都府立医科大学附属病院), 竹本裕樹(丸太町リハビリテーションクリニック), 奥野貴司(丸太町リハビリテーションクリニック), 出口真貴(丸太町リハビリテーションクリニック), 芦分咲紀(丸太町リハビリテーションクリニック), 三木茂樹(丸太町リハビリテーションクリニック), 渡邊裕也(京都府立医科大学医学部), 山田陽介(国立栄養科学研究所), 森原徹(京都府立医科大学), 来田宣幸(京都工芸繊維大学大学院), 盛房周平(丸太町リハビリテーションクリニック)

大学生サッカー選手における複合的パフォーマンス指標の検討

竹本裕樹(丸太町リハビリテーションクリニック), 東善一(丸太町リハビリテーションクリニック), 松井知之(丸太町リハビリテーションクリニック), 奥野貴司(丸太町リハビリテーションクリニック), 出口真貴(丸太町リハビリテーションクリニック), 芦分咲紀(丸太町リハビリテーションクリニック), 三木茂樹(丸太町リハビリテーションクリニック), 来田宣幸(京都工芸繊維大学大学院), 森原徹(京都府立医科大学), 盛房周平(丸太町リハビリテーションクリニック)

一般研究発表 セッション4 14:05~14:53 寒梅館203号室

座長：北條達也(同志社大学)

脂肪組織における加齢に伴うホメオティック遺伝子の変化に及ぼす運動トレーニングの影響

加藤久詞(同志社大学大学院), 増田慎也(京都医療センター), 高倉久志(同志社大学), 井澤鉄也(同志社大学)

時計遺伝子発現リズムに基づいた運動トレーニングが骨格筋ミトコンドリア生合成に及ぼす影響について

高倉久志(同志社大学), 加藤久詞(同志社大学), 増田慎也(京都医療センター), 上野大心(同志社大学), 和田理恵子(同志社大学), 柘植厚志(同志社大学), 奥野雄也(同志社大学), 浦崎

僚大(同志社大学), 井澤鉄也(同志社大学)

少年サッカー選手を対象とした8人制ルール改正後におけるスポーツ傷害調査
中塚飛雄馬, 小森康加, 山口陽大, 喜多野宣子, 新村由恵(大阪国際大学)
スポーツ傷害後の早期復帰にむけた学際的アプローチの検討
和智道生, 亀井誠生, 福原祐介, 今川新悟, 高村裕介(立命館大学大学院)

シンポジウム 15:10~16:10 寒梅館203号室(KMB203)

オリンピックに向けた現状と課題—自然科学領域と社会科学領域の観点から—
司会: 野村昭夫(京都工芸繊維大学)

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けたスポーツ産業の現状と課題
庄子博人(同志社大学)

ソチオリンピックに向けた全日本クロスカン트리スキーチームの取り組み
竹田正樹(同志社大学)

京都滋賀体育学会総会・奨励賞表彰 16:10~16:50 寒梅館203号室

(2) 平成27年度京都滋賀体育学会総会

日時: 2016年3月13日(土)

場所: 同志社大学今出川校地室町キャンパス 寒梅館 203号室

1) 審議事項

(1) 平成27年度事業報告

① 第145回京都滋賀体育学会大会

2016年3月13日(土) 於: 同志社大学今出川校地室町キャンパス

② 第145回京都滋賀体育学会総会

2016年3月13日(土) 於: 同志社大学今出川校地室町キャンパス

③ 京都滋賀体育学会理事会(6回)

第1回: 2015年4月14日(火) 於: キャンパスプラザ京都

第2回: 2015年7月14日(火) 於: キャンパスプラザ京都

第3回: 2015年10月6日(火) 於: キャンパスプラザ京都

第4回: 2015年12月1日(火) 於: キャンパスプラザ京都

第5回: 2016年3月2日(水) 於: キャンパスプラザ京都

④ 地域連携企画

滋賀県地域スポーツ指導者研修会(参加者: 186名)

2015年8月29日・9月6日 於: 立命館大学BKC(109名)

2015年9月12日・9月27日 於: 彦根市民体育センター(77名)

主催: 滋賀県教育委員会・滋賀県体育協会・滋賀県広域スポーツセンター共催事業: 6講座(2日間)

水泳クリニック(参加者: 19名)

2015年11月15日 於: 京都府立伏見港公園プール

主催: 公益財団法人京都府公園公社

2015伏見港公園シニア健康講座(参加者:96名)

2015年11月16日 於:京都府立伏見港公園プール

主催:公益財団法人京都府公園公社

⑤京都滋賀体育学研究第31巻発行(2015年7月)

⑥京都滋賀体育学会研究基金活用事業

平成27年度学会賞(奨励論文賞)

小島理永(京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科)・野村照夫・来田宣幸(京都工芸繊維大学)

ヒップホップダンスにおける感情表現の検討:ニュージャックスイングに焦点を当てて

平成26年度若手研究奨励賞

最優秀賞:

鳥取伸彬ほか(立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科)

小学生の疾走能力に及ぼす体力因子の検討

優秀賞(50音順):

加藤久詞ほか(同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科)

脂肪組織における加齢に伴うホメオティック遺伝子の変化に及ぼす運動トレーニングの影響

古藤拓哉ほか(京都教育大学大学院教育学研究科)

ハードリング動作の向上を促す教具の開発:小学校高学年を対象として

高倉久志ほか(同志社大学)

時計遺伝子発現リズムに基づいた運動トレーニングが骨格筋ミトコンドリア生合成に及ぼす影響について

⑦京都滋賀体育学会研究集会(3件)

メディカル・フィジカルチェックを考える研究集会(世話人:来田)

2015年10月4日 於:丸太町リハビリテーションクリニック

京都滋賀体育学会と京都府下医療従事者による実践報告と講演

参加者:19名

(2)平成27年度決算報告

①一般会計

別紙1

②特別会計

別紙1

(3)平成27年度会計監査報告

一般会計・特別会計:一括報告(木村・小松崎監事)

(4)平成28年度事業計画案

①第146回京都滋賀体育学会大会

(2017年3月開催予定・開催予定大学:龍谷大学)

②京都滋賀体育学会総会(学会大会と同時開催)

③京都滋賀体育学会理事会

④京都滋賀体育学会大会講演会・実践研究会・地域連携企画

⑤京都滋賀体育学研究第32巻発行(2016年7月予定)

⑥京都滋賀体育学会学術推進事業

(奨励論文賞・若手研究奨励賞)

⑦京都滋賀体育学会研究集会活動

(5)平成27年度予算案

①一般会計予算案

別紙2

2) 報告事項

(1)会員動向

2014年3月1日現在 356名

2015年3月1日現在 332名

2016年3月1日現在 311名

(2)役員選出方法に関する規程の文言の修正

規程1条

(旧)会則8条による→(新)会則9条による

規程7条

(旧)8名連記とし→(新)8名を記し

規程10条

(旧)但し理事には滋賀県にある大学の会員を1名以上含むものとする

→(新)削除

平成24年3月3日 制定

平成25年4月1日 一部改正

平成28年3月13日 一部改正

(3)平成28～29年度京都滋賀体育学会役員選挙の結果

開票作業：2016年2月17日水曜日 10～12時

選挙管理委員：岡本直輝・真田樹義・松永敬子

監事：久保和之・長積 仁

投票数：61票・有効数：59票

定数：8名

結果：

会員選出理事	
岡本直輝	立命館大学
真田樹義	立命館大学
長積 仁	立命館大学
来田宣幸	京都工芸繊維大学
松永敬子	龍谷大学
竹田正樹	同志社大学
神崎素樹	京都大学
野村照夫	京都工芸繊維大学

会長推薦理事	
佃 文子	びわこ成蹊スポーツ大学
上林清孝	同志社大学
満石 寿	京都学園大学

会長	岡本直輝
副会長	野村照夫
副会長	真田樹義
常務理事	長積 仁
監事	
芳田哲也	京都工芸繊維大学
中比呂志	京都教育大学

(3) 研究集会活動

1) スポーツ研究会・シンポジウム

テーマ：「京都におけるスポーツ選手を対象としたメディカル・フィジカルチェックを考える」

世話人：来田宣幸

日時：2015年10月4日(日) 10:00～12:00

場所：丸太町リハビリテーションクリニック

参加者：19名

- 講演「スポーツ選手を対象としたメディカル・フィジカルチェックの現状」、
来田宣幸(京都工芸繊維大学)
- 実践報告1 「女子プロ野球選手の身体機能とパフォーマンスおよび スポーツ障害との関係」、
平本真知子(京都府立医科大学附属病院リハビリテーション部)
- 実践報告2 「女性シニアソフトテニス選手の身体機能特性」、
芦分咲紀(丸太町リハビリテーションクリニック)
- クロストーク・全体議論、
森原徹(京都府立医科大学)、松井知之(丸太町リハビリテーションクリニック)

2) 事業協力

水泳クリニック

主催：公益財団法人 京都府公園公社 伏見港公園管理事務所

協力：京都滋賀体育学会

期日：2015年11月15日(日) 午前10:00～12:00

場所：京都府立伏見港公園プール

対象：19名(7歳から70代の水泳に興味を持ち25m以上泳げる京都府民)

講師：野村照夫(京都工芸繊維大学)

内容：

○準備体操

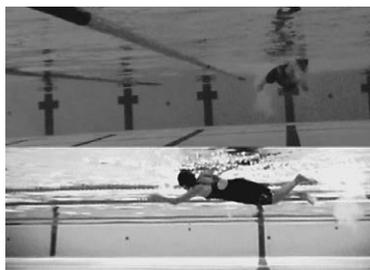
○ストリームライン姿勢の説明、プールサイドでの姿勢づくり(三角筋で耳をはさみ頭と腕の隙間をなくし、背中ではなく腹側を平らにする姿勢)

○内容を下記のA,Bの2種類の内容を設定し、前後半交代して実施した。

A：50m泳の水中フォーム撮影(側方パンカメラ画像と正面固定カメラ画像をデジタルビデオミキ

サーにてワイプ合成デジタル録画)し、プールサイドにてプロジェクタに動画を投影しながらワンポイントアドバイスを実施した。

- B: ストロークドリル (水中でのけ伸びによるストリームライン姿勢づくり、ストロークの中でストリームライン姿勢を基本とした伸びのある泳ぎづくりなど)を行い、ストローク数を数えて確認した。



図：クロール泳の側方及び正面画像

アドバイス内容：初心者から上級者、子供から高齢者まで水泳の共通基盤になるストリームライン姿勢を身につけることにより、楽に、長く、速く泳げるヒントを提示された。クロールでは肘が落ちるフォームを矯正するために肩関節の動きを改善すること、平泳ぎでは腕のプルの終盤で休憩せず上半身のストリームライン姿勢を作ってキックに繋げること、背泳ぎでは腰が落ちないように浮身姿勢をとること、バタフライではグライドの時に上半身がうねりすぎないようにフラットな泳ぎを目指すことなどが個々の泳ぎに応じてアドバイスされた。

2015伏見港公園シニア健康講座(ロコモにならない身体を目指して)

主催：公益財団法人 京都府公園公社 伏見港公園管理事務所

協力：京都滋賀体育学会

期日：2015年11月16日(月)午前9：30～12：20

場所：京都府立伏見港公園体育館

対象：96名(50歳以上の京都府民)

講師：谷口有子(京都学園大学)

内容：講演「運動とロコモティブシンドロームについて」(9：30～10：30)

○ロコモティブシンドロームの要員や症状

運動器の障害のために移動機能の低下をきたした状態を、ロコモティブシンドロームという。略称はロコモで、和名は運動器症候群である。

ロコモは骨、関節、軟骨、椎間板、筋肉といった運動器のいずれか、或は複数に障害が起こり、「立つ」「歩く」といった機能が低下している状態をいう。進行すると日常生活にも支障が生じて、要支援・要介護に進行してしまうことがある。自動車に例えると、タイヤがパンクすると自動車は動かない。

「健康寿命」は健康上の問題がない状態で日常生活を送れる期間のことである。平均寿命と健康寿命の間には、男性は9年、女性は13年の差がある。要支援・要介護状態になった原因の25%は運動器の障害である。要介護や寝たきりは、本人だけでなく家族など周囲の人にとっても問題になるので、運動器の健康を維持することが大切である。弱った骨や筋肉では、40代・50代で身体

の衰えを感じやすくなり、60代以降思うように動けない身体になってしまう可能性があり、運動により良い骨を維持する必要がある。軟骨や椎間板にも適正な負荷が、かかることが必要である。過度なスポーツによる負担のかけ過ぎは、逆に痛めてしまう場合もある。肥満もやせすぎも望ましくない。

ロコモに関する要因や症状は、運動習慣のない生活、活動量の低下、やせ過ぎや肥満、スポーツのやりすぎや事故によるケガに由来する運動器疾患の予兆を放置することにより重篤化する。骨粗鬆症・変形性関節症・変形性脊椎症などの運動器疾患の発症につながり、要支援・要介護リスクが上昇する。

○7つのロコチェック：1)片脚立ちで靴下がはけない、2)家の中でつまずいたり滑ったりする、3)階段を上るのに手すりが必要である、4)家のやや重い仕事が困難である、5)2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である、6)15分くらい続けて歩けない、7)横断歩道を青信号で渡りきれない。

○ロコモ度テスト：

- ・立ち上がりテスト：片脚または両脚で、決まった高さから立ち上がれるかどうかで、脚力を測る。
- ・2ステップテスト：できる限り大股で2歩ステップした2歩幅を身長で割った値を2ステップ値とし、下肢の筋力・バランス能力・柔軟性を含めた歩行能力を総合的に評価する。
- ・ロコモ25：最近1か月でからだの痛みや日常生活で困難なことがないか25の質問に答えてロコモ度を調べる。

上記3つのテスト結果から、ロコモ度判定を行う。定期的にロコモ度テストを行い、移動機能の状態をチェックする。

○ロコモーショントレーニング：バランス能力をつける「片脚立ち」や下肢筋力をつける「スクワット」等の実践を推奨する。

プロジェクト委員の推薦

事業主体：京都市教育委員会体育健康教育室

協力：京都滋賀体育学会

期日：2015年11月12日(木)

内容：「小学校部活動等のガイドライン検討会議」における学識経験者の推薦

立命館大学 准教授 上田憲嗣を推薦した。

小学校で行われる運動部活動について、すべての児童が一層の充実感を得られるとともに、教職員等、すべての指導者にとっても、より意欲的に指導に関わることができるよう、部活動の在り方や運営の原則を示すためのガイドラインに対し、学識経験者の立場から知見や意見を提供するための委員。

(4)平成27年度京都滋賀体育学会理事会

第1回：平成27年4月14日(火)18：30：キャンパスプラザ京都

議題

1. 平成26年度第6回理事会議事録の確認

2. 日本体育学会名誉会員の推薦について
3. 日本体育学会本部の入会手続きと年会費の取り扱いについて
4. 平成26年度実施事業最終報告及び総括
5. 第145回京都滋賀体育学会・総会について
6. 講演会・実践研究会について
7. 学会誌31巻発行状況について
8. 研究集会
9. 基金の活用(学会賞：奨励論文賞、若手研究奨励賞・学術研究助成)について
10. 広報活動について
11. その他
 - ・平成28・29年度役員選挙について

第2回：平成27年7月14日(火) 18：30：キャンパスプラザ京都

議題

1. 平成27年度第1回理事会議事録の確認
2. 第145回京都滋賀体育学会・総会(担当校：同志社大学)について
第146回京都滋賀体育学会・総会担当校について
3. 講演会・実践研究会について
4. 学会誌31巻発行状況について
5. 研究集会
6. 基金の活用(学会賞：奨励論文賞、若手研究奨励賞・学術研究助成)について
7. 広報活動について
8. その他
 - ・平成28・29年度役員選挙について
 - ・京都滋賀体育学会顧問の年会費について

第3回：平成27年10月6日(火) 18：30：キャンパスプラザ京都

議題

1. 平成27年度第2回理事会議事録の確認
2. 第145回京都滋賀体育学会・総会(同志社大学)について
第146回京都滋賀体育学会・総会担当校について
3. 講演会・実践研究会について
4. 学会誌32巻発行状況について
5. 研究集会について
6. 基金の活用(学会賞：奨励論文賞、若手研究奨励賞)について
7. 広報活動について
8. その他

第4回：平成27年12月1日(火) 18：30：キャンパスプラザ京都

議題

1. 平成27年度第3回理事会議事録の確認
2. 「平成27年度京都府スポーツ賞」被表彰候補者の推薦について
3. 第145回京都滋賀体育学会・総会(同志社大学)について
第146回京都滋賀体育学会・総会担当校について
4. 講演会・実践研究会について
5. 学会誌32巻発行状況について
6. 研究集会について
7. 基金の活用(学会賞：奨励論文賞、若手研究奨励賞)について
8. 広報活動
9. その他

第5回：平成28年3月2日(火) 18：30：キャンパスプラザ京都

議題

1. 平成27年度第4回理事会議事録の確認
2. 「平成28年度日本体育学会名誉会員の候補者」推薦について
3. 第145回京都滋賀体育学会大会・総会(同志社大学)について
4. 講演会・実践研究会について
5. 学会誌32巻発行状況について
6. 研究集会について
7. 基金の活用(学会賞：奨励論文賞、若手研究奨励賞)について
8. 広報活動について
9. その他
・平成28・29年度役員選挙について

第6回：平成28年3月13日(日) 12：00：同志社大学今出川校地室町キャンパス寒梅館

議題

1. 平成27年度第5回理事会議事録の確認
2. 第145回京都滋賀体育学会大会・総会(同志社大学)について
3. 学会誌32巻発行状況について
4. 研究集会について
5. 基金の活用(学会賞：奨励論文賞、若手研究奨励賞)について
6. 広報活動について
7. その他

II 平成27年度決算報告【別紙1】

III 会計監査報告【別紙1】

IV 平成28年度事業計画

1. 第146回京都滋賀体育学会大会(2017年3月開催予定・開催予定大学：龍谷大学)
2. 京都滋賀体育学会総会(学会大会と同時開催)
3. 京都滋賀体育学会理事会
4. 京都滋賀体育学会大会講演会・実践研究会・地域連携企画
5. 京都滋賀体育学研究第32巻発行(2016年7月予定)
6. 京都滋賀体育学会学術推進事業

V 平成28年度予算【別紙2】

VI その他

会員の動向

2014年3月1日現在	356名
2015年3月1日現在	332名
2016年3月1日現在	311名

【別紙1】

平成27年度決算報告

2015年度 京都滋賀体育学会

1. 一般会計収支計算書(2015年3月1日～2016年2月29日)

収入	予算額	決算額	備考
繰越金	701,495	701,495	
会費	600,000	640,500	年会費:2,000円×311人 入会金:1,000円×13人、500円×11人 臨時会員:1,000円×43人(第144回大会参加費)
学会本部補助金	63,200	97,000	
広告協賛金	50,000	115,000	
合計	1,414,695	1,596,995	(A)
支出	予算額	決算額	備考
学会事業費			
・補助金	250,000	170,736	学会大会・総会:140,736円(第144回大会) 研究集会:3万円×1件
・学会賞費	50,000	70,000	若手研究奨励賞:2万円×1件、1万円×5件
・印刷費	300,000	241,009	学会誌(第31巻)印刷発送経費
学会運営費			
・編集委員会費	30,000	6,000	査読謝礼
・会計費	4,000	4,297	振込手数料・郵便通信費
・庶務費	60,000	1,635	郵便通信費
・役員選挙経費	70,000	53,597	郵便通信費・事務経費等
・広報費	30,000	-	
予備費	620,695	-	
合計	1,414,695	547,274	(B)
次年度繰越金		1,049,721	(A)-(B)

以上、相違ありません。

監査 木村みさか

小松崎敏



2. 特別基金収支計算書(2015年3月1日～2016年2月29日)

収入	決算額
繰越金	493,601
利息	102
合計	493,703
支出	決算額
研究助成(1件)	150,000
振込手数料(1件)	432
合計	150,432
次年度繰越金	343,271

以上、相違ありません。

監査 木村みさか

小松崎敏



【別紙2】

平成 28 年度予算案

一般会計予算案

収入

費目	予算額
会費	640,000
臨時会員会費(学会大会参加費)	40,000
学会本部補助金	97,000
広告協賛金	100,000
合計	877,000

支出

費目	予算額
学会事業費	
・補助金(学会大会・総会)	140,000
・補助金(研究集会等)	150,000
・学会賞費	50,000
・印刷費	300,000
学会運営費	
・編集委員会費	30,000
・会計費	5,000
・庶務費	60,000
・広報費	30,000
予備費	112,000
合計	877,000

収支

	予算額
繰越金	1,049,721
単年度収支	—
次年度繰越金	1,049,721